

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	パソコン実習		授業形態	実技
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	(1 単位)
	大圖 由理 佐野 留美子	佐野 留美子	授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法	株式会社の IT 事業部において、パソコン教室のインストラクターとしてパソコン教室の教室運営業務に従事した。 その経験を活かし、より実践的な指導・解説を行っている。			
授業目的 到達目標	【授業目的】業務上必要となる Excel 操作の基本知識を身につける。 【到達目標】効果測定で表作成ができる。			
授業内容	回 01: Excel の構成要素・表作成の基本操作 02: 数式・関数を活用した集計表の作成 03: 見やすく使いやすい表にする編集操作 04: 目的に応じたグラフの作成と編集 05: 効果測定			
準備学習等	特になし。			
テキスト 参考文献	大原出版『パソコン実習』			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	ビジネス文書		授業形態	実技
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	(1 単位)
	公務員担当者全員		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 公務員採用試験における提出書類の作成方法を身につける。			
到達目標	【到達目標】 公務員採用試験の提出書類完成			
授業内容	回 01～02: 履歴書作成 03～05: 面接カード作成			
準備学習等	採用試験提出の書類は必ず提出前に担当教員より添削を受けること。			
テキスト 参考文献	大原出版『就職ガイドブック』 『就職ノートブック』			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	自己啓発		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	(2 単位)
	公務員担当者全員		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】講演会を通じた社会人マナー、社会人基礎力の養成 【到達目標】就職活動までに社会人基礎力を身につける。			
授業内容	回 01～05:講演会	回		
準備学習等	講演会終了後にレポートを作成し、提出する。			
テキスト 参考文献	資料を随時配布。			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	面接試験対策		授業形態	実習
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	200 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	7 単位
	公務員担当者全員 就職担当者全員		授業回数	100 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】身だしなみ、書類の準備、受験先分析、質問対応など細部に渡る面接指導 【到達目標】面接試験に合格できる実力の練成			
授業内容	回 01～100:面接試験対策 ・ 質問の受け答えだけでなく、身だしなみ・入退室なども含む総合的な面接練習 ・ 各個人の受験先別面接カードの作成と添削 ・ 過去の面接試験情報からの傾向分析 ・ 受験先についての疑問に対する、受験先別担当者との個別面談 等のきめ細やかな面接対策を行い、面接試験に合格できる実力を養う。		回	
準備学習等	学校で指導員による面接練習を受ける前に、自主練習を自宅で行うこと。			
テキスト 参考文献	大原出版『テキスト 面接試験対策』 各受験先の過去の面接試験情報、パンフレット類			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	官庁・企業研究		授業形態	実習
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	(2 単位)
	公務員担当者全員		授業回数	10 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における官庁ごとの必要な知識の習得 【到達目標】 説明会内容をまとめたレポートの作成			
授業内容	回 01～25: 官庁業務説明会、レポート作成 各官庁の業務説明会を実施し、開催後に課題としてレポート作成を行う 昨年の実施官庁は以下の通り（主なもの） 新潟県、新潟市、長岡市 新潟県警、新潟市消防、長岡市消防 警視庁、埼玉県警、神奈川県警 内閣府、国土交通省、経済産業省、外務省、 警察庁、東京税関、総務省統計局、 新潟地方法務局、北陸地方整備局、 海上保安庁、自衛隊、 国家税務職、裁判所 等			
準備学習等	説明会前に官庁の概要を調べ、質問事項を考えてから参加する。			
テキスト 参考文献	資料を随時配布。			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	ビジネスマナー		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	公務員担当者全員		授業回数	10 回
			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】電話対応、接遇などのビジネスマナーを身につけさせる。			
到達目標	【到達目標】効果測定に合格させる。			
授業内容	回 01: 職場のマナー 02: 仕事の進め方・ほうれんそう 03: 挨拶と敬語 04: 来客対応の基本 05: 電話対応（基本フレーズ・受け方） 06: 電話対応（かけ方・状況別対応） 07: 電話対応（実技） 08: 接遇マナー（お茶の入れ方・出し方） 09: 接遇マナー（一連の流れ） 10: 接遇マナー（実技）			
準備学習等	テキストに目を通し、事前に内容を把握する。			
テキスト 参考文献	大原出版『PCP テキスト ビジネスマナー』			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	ビジネス実務		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	40 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	2 単位
	公務員担当者全員		授業回数	20 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【目的】ビジネス実務のうち、一般的な業務を行うのに必要な知識、技能を学ぶ。 【目標】ビジネス実務における一般的な業務、礼儀・道徳心、人間関係の構築、業務を遂行するための環境、組織の目的・構造を理解できる。			
授業内容	回 01: ビジネスマンとしての資質 02: 執務要件・組織の機能 03: 人間関係・マナー・話し方 04: 情報・文書・会議 05: 事務機器・事務用品 06: 人間関係の心理 07: ビジネス実務-服装 08: 話し方の成立条件 09: 人間関係への結びつき 10: 一般的な敬語 11: 慶事の一般知識 12: 弔事の一般知識 13: 一般的な交際業務 14: 情報の整理・伝達 15: 文書の取り扱い・基本的文書作成		回 16: 会議及び運営 17: 事務機器 18: 状況に応じた行動力・判断力・表現力 19: 明るさ・誠実さ 20: 身だしなみ・自己管理 仕事を誠実に実行できる能力 良識を持つ 模範となる態度 協調性のある行動 積極性 合理性 効率性 業務分掌について 職位、職制の持つ役割及び機能 会社などの社会的責任及び役割	
準備学習等	復習として、テキストの該当ページを確認し練習しておく。			
テキスト 参考文献	早稲田教育出版「ビジネス実務マナー検定実問題集」			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	数的推理		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	80 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	3 単位
	駒沢 裕喜 中村 洋介		授業回数	40 回
	筒井 悠麻 中村 彩乃		成績評価方法	試 験 80%
	土田 達也			授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01:方程式・不等式 02:整数・計算パズル 03:割合と比 04:速さ 05:仕事算 06:場合の数 07:確率 08:方程式・不等式 09:整数・計算パズル 10:割合と比 11:速さ 12:仕事算 13:場合の数 14:確率 15～40: 模擬試験解説	回	回	
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理Ⅰ 実戦問題集』 『数的処理Ⅱ 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	判断推理		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	80 時間
科目教員	教員名		単位数	3 単位
	駒沢 裕喜 中村 洋介 筒井 悠麻 中村 彩乃 土田 達也		授業回数	40 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得			
到達目標	【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01: 論理 02: 集合の要素の個数 03: 順序 04: 対応 05: 位置と方位 06: 勝ち負け 07: カード・ゲーム 08: うその発言 09: 推理・手順 10: 暗号 11: 論理 12: 集合の要素の個数 13: 順序 14: 対応	回 16: 位置と方位 17: 勝ち負け 18: カード・ゲーム 19: うその発言 20: 推理・手順 21: 暗号 22～40: 模擬試験解説	回	
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理Ⅰ 実戦問題集』 『数的処理Ⅱ 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	空間把握		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	80 時間
科目教員	教員名		単位数	3 単位
	駒沢 裕喜 中村 洋介 筒井 悠麻 中村 彩乃 土田 達也		授業回数	40 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01: 折り紙 02: 回転の軌跡 03: 正多面体・展開図 04: 平面図形の構成 05: サイコロ 06: 見取り図と投影図 積み木 07: 立体の切断 08: 一筆書き 09: 平面図形の計量 10: 立体図形の計量 11: 折り紙 12: 回転の軌跡 13: 正多面体・展開図	回 14: 平面図形の構成 15: サイコロ 16: 見取り図と投影図 積み木 17: 立体の切断 18: 一筆書き 19: 平面図形の計量 20: 立体図形の計量 21～40: 模擬試験解説	回	
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理Ⅰ 実戦問題集』 『数的処理Ⅱ 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科		
		学年	2 年次		
科目名	資料解釈		授業形態	演習	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間	
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	1 単位
	駒沢 裕喜 中村 洋介 筒井 悠麻 中村 彩乃 土田 達也			授業回数	10 回
				成績評価方法	試 験 80%
					授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得				
到達目標	【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。				
授業内容	回				
	01:実数・割合 02:構成 03:指数 04:増加率 05:いろいろな資料 06:実数・割合 07:構成 08:指数 09:増加率 10:模擬試験解説				
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習				
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理Ⅰ 実戦問題集』 『数的処理Ⅱ 実戦問題集』 答案練習問題				
備 考					

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	国語・文章理解		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	公務員担当者全員		授業回数	10 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～10: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	政 治		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	50 時間
科目教員	教員名		単位数	2 単位
	小田 悟 荒川 晃生 竹田 泰隆 永井 航 土田 達也		授業回数	25 回
			成績評価方法	試 験 80%
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 過去問演習を通じて、本試験で得点する能力を高めさせる。 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01:政治の基本概念 02:政治制度論 03:政治過程度論 04:憲法（総論・基本的人権・憲法改正）① 05:憲法（総論・基本的人権・憲法改正）② 06:憲法（総論・基本的人権・憲法改正）③ 07:憲法（統治機構）① 国会 08:憲法（統治機構）② 内閣 09:憲法（統治機構）③ 裁判所 10:憲法（統治機構）④ 地方自治 11～25：模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『政治 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	経 済		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	50 時間
科目教員	教員名		単位数	2 単位
	小田 悟 荒川 晃生		授業回数	25 回
	竹田 泰隆 永井 航		成績評価方法	試 験 80%
	土田 達也			授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 過去問演習を通じて、本試験で得点する能力を高めさせる。			
到達目標	【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01:経済社会の変容と経済体制 02:現代の企業 03:現代の市場 04:国民所得 05:経済成長と景気循環 06:通貨制度と金融政策 07:財政制度と財政政策 08:貿易と為替 09:日本経済の動向 10:国際経済の動向 11～25:模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト	大原出版『経済 実戦問題集』			
参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律学科行政	
		学年	2 年次	
科目名	社会時事		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	30 時間
科目教員	教員名		単位数	2 単位
	小田 悟 荒川 晃生 竹田 泰隆 永井 航 土田 達也		授業回数	15 回
			成績評価方法	試 験 80%
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 過去問演習を通じて、本試験で得点する能力を高めさせる。 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01:労働問題 02:社会保障 03:環境問題 04:国際関係 05:社会理論 06:現代の諸相 07～15:模擬試験解説		回	
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『社会 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	日本史		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	50 時間
科目教員	教員名		単位数	2 単位
	竹田 泰隆 小田 悟 土田 達也 荒川 晃生		授業回数	25 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～06：実戦問題集 07～25：模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『日本史 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	世界史		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	50 時間
科目教員	教員名		単位数	2 単位
	竹田 泰隆 小田 悟 土田 達也 荒川 晃生		授業回数	25 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～06：実戦問題集 07～25：模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『世界史 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	地 理		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	50 時間
科目教員	教員名		単位数	2 単位
	竹田 泰隆 小田 悟 土田 達也 荒川 晃生		授業回数	25 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～06：実戦問題集 07～25：模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『地理 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科		
		学年	2 年次		
科目名	生物・化学		授業形態	演習	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	30 時間	
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	2 単位
	駒沢 裕喜 中村 洋介 筒井 悠麻 中村 彩乃 土田 達也			授業回数	15 回
				成績評価方法	試 験 80%
					授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】本試験レベルの問題が解ける。				
授業内容	回 01～15: 模擬試験解説				
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習				
テキスト 参考文献	答案練習問題				
備 考					

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	物理・地学		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	30 時間
科目教員	教員名		単位数	2 単位
	駒沢 裕喜 中村 洋介 筒井 悠麻 中村 彩乃 土田 達也		授業回数	15 回
			成績評価方法	試 験 80%
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～15: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	憲法概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	永井 航		授業回数	10 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得			
到達目標	【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05:実戦問題集 06～10:模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト	大原出版『憲法 実戦問題集』			
参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	民法概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	40 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	永井 航		授業回数	20 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05:実戦問題集（民法Ⅰ） 06～10:模擬試験解説（民法Ⅰ） 11～15:実戦問題集（民法Ⅱ） 16～20:模擬試験解説（民法Ⅱ）		回	
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『民法Ⅰ 実戦問題集』 『民法Ⅱ 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	行政法概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	永井 航		授業回数	10 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05: 実戦問題集 06～10: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『行政法 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	経済学概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	40 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	小田 悟 筒井 悠麻		授業回数	20 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05:実戦問題集（ミクロ経済学） 06～10:模擬試験解説（ミクロ経済学） 11～15:実戦問題集（マクロ経済学） 16～20:模擬試験解説（マクロ経済学）		回	
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原出版『ミクロ経済学 実戦問題集』 『マクロ経済学 実戦問題集』 答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	財政学概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	小田 悟		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	政治学概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	永井 航		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	行政学概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	小田 悟 永井 航		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	社会学概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	永井 航		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	経営学概論		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	小田 悟		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 演習・模擬試験を通じた、応用力の獲得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～05: 模擬試験解説			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	適性検査演習		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	50 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	2 単位
	公務員担当者全員		授業回数	100 回
			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における適性検査で必要な技術の修得 【到達目標】 本試験レベルの問題が解ける。			
授業内容	回 01～18:実戦問題集 問題演習 19～100:模擬試験 適性計測			
準備学習等	各回の問題を復習し、解き方を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『適性試験 実戦問題集』 答案練習問題			
備考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	漢 字		授業形態	演習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	(1 単位)
	公務員担当者全員		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 答案練習を通じて、検定本番で得点する能力を高めさせる。			
到達目標	【到達目標】 日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験 1 級合格			
授業内容	回 01～05: 答案練習			
準備学習等	答案練習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	答案練習問題			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	計算実務（電卓）		授業形態	実技
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	10 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	（ 1 単位）
	公務員担当者全員		授業回数	5 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 答案練習を通じて、検定本番で得点する能力を高めさせる。			
到達目標	【到達目標】 日本電卓技能検定協会主催電卓技能検定試験 1・2 級合格			
授業内容	回 01～05: 答案練習			
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。 問題演習で出題された範囲の見直し、復習			
テキスト 参考文献	大原簿記学校 教材開発部『電卓マスター講座』 大原出版『電卓技能検定試験問題集 1・2 級』 『電卓技能検定試験 1・2 級伝票算問題』			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	2 年次	
科目名	トレーニング実習		授業形態	実習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	迫 慶太		授業回数	10 回
	大浦 優斗		成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法	民間スポーツ施設指導者			
授業目的 到達目標	【授業目的】体力を保持し、健康なコンディション作りができるような方法を学ぶ。 【到達目標】就職を希望する官庁の体力試験合格基準を満たす体力を作る。			
授業内容	回 01：スポーツテスト(腕立て伏せ・上体起こし・反復横跳び・握力・立ち幅跳び) 02：栄養学 03～09：体力トレーニング 10：スポーツテスト(腕立て伏せ・上体起こし・反復横跳び・握力・立ち幅跳び)			
準備学習等	特になし。			
テキスト 参考文献	特になし。			
備 考				